個々の成長は自由遊びから

幼児期の子どもたちは、一人ひとり成長のペースや興味が違います。

　そのため、もし個々の成長の伸びを大切にしたいと考えるなら、ただ同じことをみんなで行う集団授業だけに頼るのではなく、自由遊びの時間がとても重要です。

　自由遊びの中で、子どもたちは自分で考え、試し、工夫することを学びます。ブロックやままごと、追いかけっこや砂遊びなど、どれも遊んでいるように見えますが、体の使い方・心の力・考える力・協力する力が自然に育つ時間です。遊びを通して得た経験は、一斉活動では得にくい、個々の能力や興味を伸ばす基盤になります。

　もちろん、集団で行う活動や一斉授業も社会性やルールを学ぶうえで大切です。しかし、子ども一人ひとりの力を最大限に伸ばすためには、自由に遊びながら学ぶ時間をしっかり確保することが欠かせません。

　園では、自由遊びの中で子どもたちが自発的に挑戦できる環境を整え、遊びを通して体も心も育てられるように工夫しています。子どもが自由に遊べる時間を大切に見守っていきたいです。